



森 政郎 議員

敬老会について

日本・池田町の礎を築き、社会に貢献された高齢者に感謝する「敬老会」の対象年齢が引上げられた。「順番がこない」との声もあり、近隣市町の現状や見通しの説明を。

町長

年齢は当初75歳、19年から77歳、今年から78歳以上、世話役や会場の状況から判断。参加率は減少傾向、手狭な地区もある。参加出来なかった人には、来年も健康でいて下さいとお願いました。

近隣市町も大体同じだが、大野・神戸町は参加率減少を心配。対象者は年々2.5%くらい増加、毎年検証しながら、当面は78歳で、町の発展に尽力された皆さんに楽しんでいただく。

[池田町・近隣市町敬老会の状況]

	対象年齢	会場	予算(万円)	対象者数	参加率	内容 (余興、記念品は全地区)
池田町	78歳以上	6ヶ所	660	2,280	37.5%	弁当 温泉入浴券 90歳以上・88歳：別途記念品
揖斐川町	77歳以上	21ヶ所	1,200	3,787	35%	地域振興券 開催日：余興：会場毎
大野町	77歳以上	町民センター	545	2,310	26.6%	商品券 90歳：別途記念品
大垣市(全体)	90歳以上	情報工房	500	2,000	10%	タクシー手配
大垣市(地区)	地区毎	22ヶ所	1ヶ所2万円			地区毎に異なる
神戸町	78歳以上	中央公民館	620	2,019	17.4%	商品券 88歳：別途記念品

参加率減少は年齢引上げも一因。会場が問題なら、中央公民館を地区別に利用するなど、楽しみにしている方のために、制度の継続を。

町長

団塊世代が対象となる頃は5,500人となり、会場は地区公民館でも無理となる。各区へ補助金を出し、地域単位となるかもしれない。

池田町内の信号 交差点について

池田中学東交差点で11月5日夜、町民が犠牲となる交通事故が発生した。20時30分以降の点滅信号が事故につながったと報道され、11月中旬には常時灯に変更された。犠牲者のご冥福をお祈りするとともに、事故の原因究明と再発防止が肝要である。

町長

犠牲者には、心よりお悔やみを申し上げる。
南進車が東へ渡る横断者を見落とした。前年度にも、人身1件と物損2件が発生している。あの交差点では、冷やっとした経験がある。常時灯が必要で、警察はその前後の点滅についても順次変えていくと言っている。
町全体では、人身事故43件、物損事故634件という状況で、今後も交通事故・死亡事故を減らす努力をしていく。

前年度の事故後、町としての対応は、類似或いはそれ以上に危険な交差点や信号機の有無と対策および点滅についての基準は。

町長

事故後に町・警察・安協役員で現場検証し再発防止策も検討している。町がすべてではなく公安へも要請しながら取り組んでいる。点滅についての基準はない。揖斐郡内で信号機設置の予算枠は多くて3ヶ所である。

池田山の倒木対応について

「被害に直結する状況ではない」との6月議会答弁だったが、小寺からの山道にはかなりの倒木が散在。災害の恐れがあり、早急な対策と類似状況の調査を。また、登山道として整備し災害防止につなげることも要望する。

町長

池田山全体で、明神線や霞間ヶ深・大津谷登山道の心配される木等を86本伐採した。林道等も倒木情報等があれば処理している。登山道は、文化財・観光的な面も検討し、山麓一体として取り組んでいく。今後、地域の関係者等と相談しながら検討していく。

[池田町内の信号機設置状況]

信号機 (内押ボタン有)	信号機の形態		
	常時灯	常時点滅	夜間点滅
36ヶ所 (8ヶ所)	28ヶ所	2ヶ所	6ヶ所